

令和 8 年度 第 1 回 中能登町立中能登中学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和 8 年 5 月 1 日（木） 14：30～15：40
【会 場】	中能登町立中能登中学校 2F 会議室
【出席者】	大西 保、古玉 路子、長元 清子、山口 一也、横町 昌宏 竹下 慶 学校長（50 音順） 学校代表者： 武原 都 教頭
【事務局】	学校教育課：山森担当課長、服部主査 生涯学習課：寺西主査、中瀬主査、山口
【次回予定】	未定

【進行】 学校教育課：山森担当課長、中能登中学校：武原教頭

1. 会長、副会長の承認

※委員互選により、会長：横町 昌宏さん、副会長：山口 一也さんに決定。

2. 学校経営方針と未来社会への資質・能力の育成

前任の経営方針を継承しつつ、「安心・連帯・明日への活力」を 3 つの柱として掲げる。予測困難な未来社会を切り拓くため、生徒と教職員が安心して過ごせる土台作りを最優先とする。

【質疑応答】

- ・挨拶運動のマンパワーがたらないのであれば元教員の O B 会や P T A 活動に組み込んで頼っても良いのではないかと？それもありだが、生徒自身に自主的に参加を促す方法も良いのではないかと？
- ※学校経営計画について承認。

3. 個別の支援と居場所づくり

昨年度設置された教育支援センター「ほっとルーム」の稼働状況について報告。1 年生は現在全員が登校できており、ホットルームから通常学級へ復帰する事例も出ている。不登校傾向の生徒（23 名程度）に対しては、オンライン活用や短時間の来校など、一人ひとりに応じた居場所づくりを継続する。

4. 働き方改革と部活動の地域展開

教員の健康管理と業務改善のため、部活動の地域展開を推進する。

項目	現状と今後の計画
運動部	ソフトボール部以外は土日の活動をクラブチームへ移行。男子バスケットボールと陸上は平日もモデル事業として実施。
文化部	吹奏楽部が地域クラブ「センターオブザノート」として活動。

【質疑応答】

- ・保護者負担は増えるのか？自転車での帰宅は？
近場であれば可能だが、街頭がない場合や夜道を考えると車になるのではないかとと思う。
- ・地域クラブで活動した場合の高校の推薦は？

学校側は引き続き事務手続きのみで、高校・指導者・生徒のつながりが軸になっていくのではないか？・高校への推薦基準については、早期から生徒・保護者に明示し、透明性を確保している。

5. 委員からの提言と意見交換

- ・学校の困りごと（人手不足、施設整備等）をもっと具体的に発信すべき。
- ・地域人材の活用については、教員との事前コミュニケーションを密にし、過剰サービスにならない「良い塩梅」を見極める。

6. まとめ

学校、家庭、地域が連携し、中能登中学校の生徒が力を発揮できるようサポートしていくことを確認。委員それぞれの立場で知恵を出し合い、課題解決に向けて協力していく体制を強化する。